

MARUYAMA  
INTERIM  
REPORT 2016

第81期

## ● 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2016年9月期第2四半期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2016年6月



代表取締役社長  
尾頭 正伸

### ▶ 決算ハイライト

<p>■ 売上高</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>14,870百万円</b>  0.4%増</p>	<p>■ 営業利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>179百万円</b>  69.5%増</p>
<p>■ 経常利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>61百万円</b>  19.1%減</p>	<p>■ 親会社株主に帰属する四半期純利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>▲60百万円</b>  前年同四半期は114百万円の損失</p>

## CONTENTS

株主の皆様へ……………P1	株式情報……………P9
連結セグメント別の概況……………P3	会社情報……………P10
連結財務諸表……………P5	株主メモ……………裏表紙
トピックス……………P7	

### ▶ 2016年第2四半期連結累計期間における事業の概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府や日銀の継続的な各種政策の効果などにより、設備投資の持ち直しや、雇用情勢に改善がみられ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済におきましては、米国は回復傾向が続く、欧州も緩やかに回復しておりますが、アジアでは中国を中心に経済成長の減速が続いており、世界経済全体では、先行き不透明な状況で推移し、国内においても、円高・株安の傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内におきましては、地域に密着した積極的な営業活動を展開することにより販売の拡大に努めてまいりました。一方、海外におきましては、現地の販売会社、駐在事務所を中心に、新たな海外販路の開拓と販売の拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、国内では、前連結累計期間の米価下落からの回復傾向による設備投資意欲の回復や、各種政策の効果などにより、国内売上高は11,466百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。一方、海外におきましては、北米向けが減少したことなどにより海外売上高は3,403百万円(前年同四半期比10.1%減)となり、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は14,870百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

利益面では、売上高の増加などにより売上総利益が増加したため、営業利益は179百万円(前年同四半期比69.5%増)となりました。経常利益は、円高に伴う為替差損の計上などにより61百万円(前年同四半期比19.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は60百万円(前年同四半期は114百万円の損失)となりました。

### ▶ 2016年9月期の見通しについて

通期につきましては、経済・金融政策を背景に雇用環境が改善されるなど、景気の回復基調が続くことが期待されますが、中国経済の減速やアジア経済の下振れ懸念などから先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは、4月以降に発売する新製品を中心に積極的な営業活動を進めてまいります。海外におきましては、新規の販路開拓はもちろんのこと、既存の販路につきましても更なる充実を図ってまいります。

通期の業績予想につきましては、連結売上高36,000百万円(前期比2.3%増)、連結営業利益1,300百万円(前期比4.0%増)、連結経常利益1,200百万円(前期比26.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円(前期比8.1%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
通期業績予想 (2016年9月期)	36,000	1,300	1,200	700	4

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

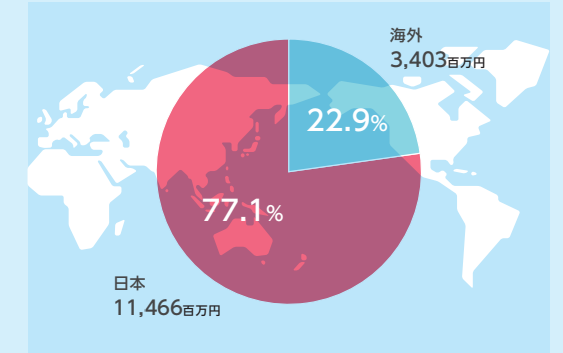
# ● 連結セグメント別の概況

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用機械	<p>農林業用機械 売上高 74.2% 11,146百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>期間</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2014/3</td><td>12,513</td><td>1,228</td></tr> <tr><td>2015/3</td><td>10,498</td><td>150</td></tr> <tr><td>2016/3</td><td>11,146</td><td>244</td></tr> </table>	期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2014/3	12,513	1,228	2015/3	10,498	150	2016/3	11,146	244	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴霧機</li> <li>散布機</li> <li>刈払機</li> <li>チェーンソー</li> <li>その他</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>6.2%増</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>62.3%増</b></p> <p>国内におきましては、米価下落からの回復傾向による設備投資意欲の回復、各種政策の効果や、積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。また、海外におきましても、刈払機などの林業機械が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は11,146百万円(前年同四半期比6.2%増)、営業利益は244百万円(前年同四半期比62.3%増)となりました。</p>
期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2014/3	12,513	1,228														
2015/3	10,498	150														
2016/3	11,146	244														
工業用機械	<p>工業用機械 売上高 15.6% 2,349百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>期間</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2014/3</td><td>2,597</td><td>641</td></tr> <tr><td>2015/3</td><td>2,674</td><td>572</td></tr> <tr><td>2016/3</td><td>2,349</td><td>496</td></tr> </table>	期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2014/3	2,597	641	2015/3	2,674	572	2016/3	2,349	496	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業用高圧ポンプ</li> <li>高圧洗浄機</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>12.2%減</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>13.3%減</b></p> <p>国内におきましては、工業用ポンプなどが増加しましたが、海外におきましては、北米向けの工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は2,349百万円(前年同四半期比12.2%減)、営業利益は496百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。</p>
期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2014/3	2,597	641														
2015/3	2,674	572														
2016/3	2,349	496														
その他の機械	<p>その他の機械 売上高 8.4% 1,269百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>期間</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2014/3</td><td>1,902</td><td>43</td></tr> <tr><td>2015/3</td><td>1,538</td><td>22</td></tr> <tr><td>2016/3</td><td>1,269</td><td>71</td></tr> </table>	期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2014/3	1,902	43	2015/3	1,538	22	2016/3	1,269	71	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火器</li> <li>防災関連機器</li> <li>環境衛生用機械</li> <li>その他</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>17.5%減</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>(22百万円の損失)</b></p> <p>消防機械を主なものとしており、売上高は1,269百万円(前年同四半期比17.5%減)、営業利益は71百万円(前年同四半期は22百万円の損失)となりました。</p>
期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2014/3	1,902	43														
2015/3	1,538	22														
2016/3	1,269	71														
不動産賃貸他	<p>不動産賃貸他 売上高 1.8% 263百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>期間</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2014/3</td><td>257</td><td>127</td></tr> <tr><td>2015/3</td><td>266</td><td>141</td></tr> <tr><td>2016/3</td><td>263</td><td>130</td></tr> </table>	期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2014/3	257	127	2015/3	266	141	2016/3	263	130	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産賃貸</li> <li>売電事業</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>1.1%減</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>7.5%減</b></p> <p>不動産賃貸他の売上高は263百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業利益は130百万円(前年同四半期比7.5%減)となりました。</p>
期間	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2014/3	257	127														
2015/3	266	141														
2016/3	263	130														

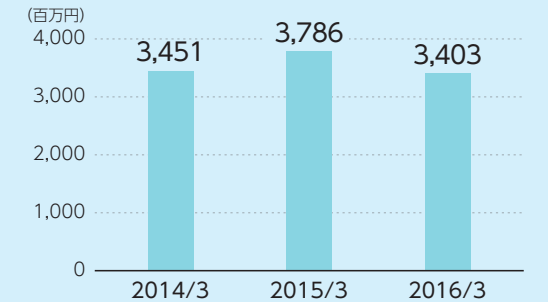
※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

## 海外の売上高の状況

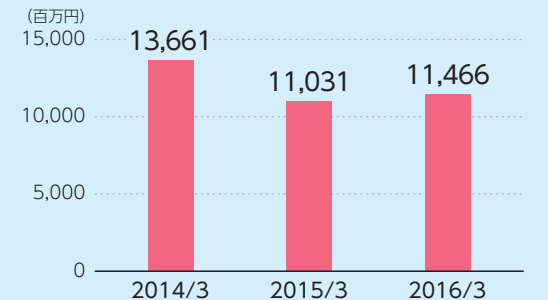
売上高の海外構成比



海外



日本



# ● 連結財務諸表

## ▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前四半期 (2015年3月31日現在)	当四半期 (2016年3月31日現在)	前期 (2015年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	22,525	22,547	22,371
固定資産	11,751	11,994	12,078
有形固定資産	7,526	8,019	8,076
無形固定資産	287	546	484
投資その他の資産	3,937	3,427	3,517
<b>資産合計</b>	<b>34,276</b>	<b>34,542</b>	<b>34,449</b>

Point  
①

### Point ① 資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は34,542百万円となり、前連結会計年度末より92百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少(655百万円)、受取手形及び売掛金の減少(1,557百万円)はありましたが、たな卸資産の増加(2,461百万円)などによるものであります。

### Point ② 負債合計

負債総額は20,461百万円となり、前連結会計年度末より395百万円増加いたしました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金の減少(701百万円)はありましたが、電子記録債務の増加(433百万円)、短期借入金の増加(790百万円)などによるものであります。

### Point ③ 純資産合計

純資産の合計は14,080百万円となり、前連結会計年度末より302百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより利益剰余金が減少(256百万円)したことなどによるものであります。

Point  
②

Point  
③

(単位:百万円)

科目	前四半期 (2015年3月31日現在)	当四半期 (2016年3月31日現在)	前期 (2015年9月30日現在)
負債の部			
流動負債	11,681	12,461	11,655
固定負債	8,679	7,999	8,411
<b>負債合計</b>	<b>20,360</b>	<b>20,461</b>	<b>20,066</b>
純資産の部			
株主資本	12,845	13,352	13,609
資本金	4,651	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525	4,525
利益剰余金	3,897	4,403	4,660
自己株式	△228	△227	△228
その他の包括利益累計額	1,070	727	774
<b>純資産合計</b>	<b>13,916</b>	<b>14,080</b>	<b>14,383</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>34,276</b>	<b>34,542</b>	<b>34,449</b>

## ▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前四半期 (2014年10月1日～ 2015年3月31日)	当四半期 (2015年10月1日～ 2016年3月31日)	前期 (2014年10月1日～ 2015年9月30日)
売上高	14,817	14,870	35,178
売上原価	10,852	10,829	25,952
売上総利益	3,964	4,040	9,225
販売費及び一般管理費	3,858	3,860	7,976
営業利益	105	179	1,249
営業外収益	168	47	137
営業外費用	197	165	439
経常利益	76	61	946
特別利益	1	0	90
特別損失	50	64	23
税金等調整前 四半期(当期)純利益	28	△2	1,014
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△114	△60	647

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

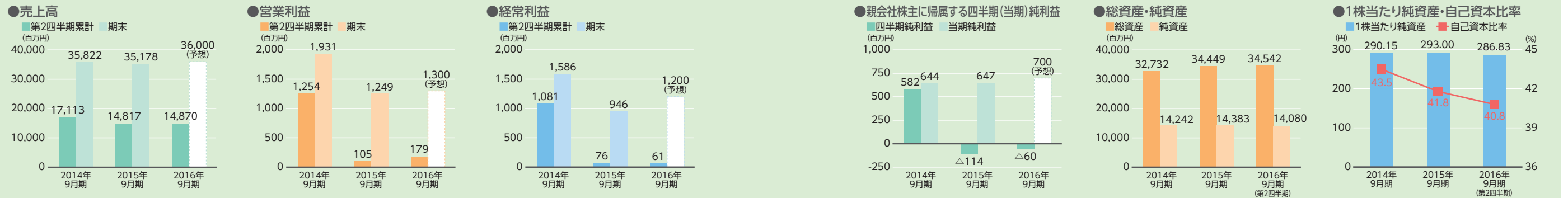
科目	前四半期 (2014年10月1日～ 2015年3月31日)	当四半期 (2015年10月1日～ 2016年3月31日)	前期 (2014年10月1日～ 2015年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△406	107	698
投資活動による キャッシュ・フロー	△518	△1,022	△917
財務活動による キャッシュ・フロー	275	279	△311
現金及び現金同等物に 係る換算差額	41	△18	1
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△607	△655	△529
現金及び現金同等物の 期首残高	2,760	2,230	2,760
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,153	1,575	2,230

Point  
④

### Point ④ 現金及び現金同等物の四半期末残高

前年同四半期と比べて、営業活動は仕入債務の増加額は減少いたしました。また、売上債権の減少などにより改善いたしました。また、財務活動においても長期借入による収入は減少いたしました。しかしながら、投資活動において有形固定資産の取得による支出が増加した結果、当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の増減額は、48百万円減少いたしました。

## ▶ 連結業績の推移



## ●トピックス

### 株式会社丸山製作所 & 株式会社エンルート 農業散布用マルチローター「スカイマスター MMC940AC」の共同開発の発表

2015年10月に当社と株式会社エンルートによる農業散布用マルチローター「スカイマスター MMC940AC」を共同開発することを発表いたしました。

この農業散布用マルチローターは、中山間地域などの小中規模な水田や畑地での防除作業を行なうことを目的に開発いたしました。大型の防除機械による農業散布作業や、有人・無人ヘリによる農業空中散布作業が不向きであったエリアでの防除作業に向け、最新技術を搭載したマルチローターを活用し、作業の省力化・効率化を図ってまいります。

1. 高性能ジャイロを搭載し、飛行の安定を実現
2. 飛行高度安定機能付きで操縦者の負担を軽減
3. 高速処理のGPSを採用
4. モーター駆動による高い静音性
5. 手元の送信機で確認できるバッテリー残量警告機能
6. 国産で信頼性の高い本格的なポンプ搭載



【スカイマスター MMC940AC】

### 南関東営業所開設

2016年4月1日に東京都八王子市に南関東営業所を開設いたしました。

担当いたしますのは、東京都・埼玉県・神奈川県の一都二県です。今までは、それぞれの地域を別々の営業所が担当しておりましたが、圏央道が開通したことにより、埼玉県から神奈川県までの利便性が増しました。

今回、八王子に営業拠点を設置することで今まで以上に機動力に富んだ営業が可能となり、担当地域のお客様にも更に頻りに訪問させていただくことができるようになります。

今後は、既存のお客様に対するサービスの向上はもちろんのこと、都市近郊ならではの市場を開拓し、今まで関わりの少なかったお客様を積極的に訪問することで事業拡大を目指してまいります。



南関東営業所  
住所：東京都八王子市越野26-16  
TEL：042-682-2840 FAX：042-682-2841

### 兵庫県養父市と女性向け刈払機の普及や改良に関する協定を締結

養父市は、耕作放棄地の増加に歯止めをかけるため、企業や高齢者など多様な担い手を確保するための規制緩和を国家戦略特区で進めており、女性の活躍にも期待していました。そのような中で白羽の矢が立ったのが、当社Lプロジェクトで企画し、販売を決定していた女性のための刈払機「かる〜の」でした。広瀬栄養父市長は、常々、農業機械の中でも使用頻度が高い刈払機が重く、高齢者や女性にはきつい作業だと感じており、軽量化やベルトの改良で体への負担を減らした「かる〜の」を知られたことで、当社と養父市の思想が一致し、今回の協定へと至りました。

今後は、養父市のような中山間地に合った製品も視野に入れながら、製品開発に取り組み、地域社会への貢献を目指してまいります。



LPB228EU 【かる〜の】



広瀬栄養父市長 当社社長尾頭

### 丸山オリジナル 高所作業機「MFH-P260」登場

当社は、果樹園等の管理・収穫で活躍している高所作業機を、パンタグラフ式、ブーム式、マスト式など幅広くラインナップしており、業界随一の品揃えを有しております。2015年10月、当社のラインナップではパンタグラフ式にあたる「MFH-P260」を

1. 2段階に開くワイドデッキは、滑り止めが付いて広く安全に作業が可能
2. 旋回もワンレバーで自由自在
3. 副変速付ミッション搭載
4. 最大高さ2.6m
5. 乗り込みやすいデッキ高さ

発売いたしました。MFH-P260は当社初となる丸山オリジナルモデルであり、お客様の様々な声にお応えした製品となっております。

今後もお客様の声を第一に考え、製品のラインナップを拡充してまいります。



【MFH-P260】

## ● 株式情報 2016年3月31日現在

### ▶ 株式の状況

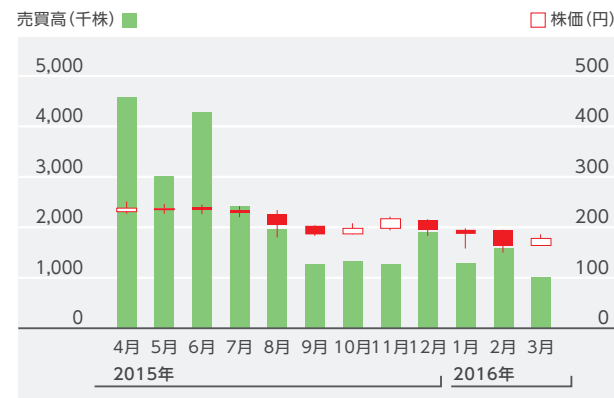
発行可能株式総数 139,061,000株  
 発行済株式の総数 50,293,328株 (自己株式1,203,184株を含む)  
 株主数 5,700名

#### 大株主(上位10名)

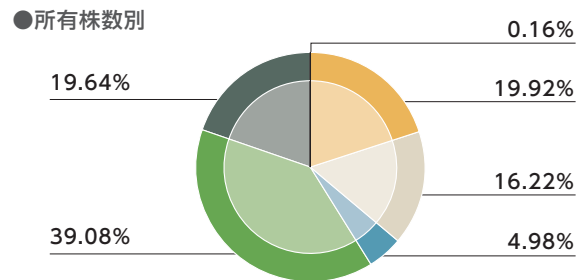
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	2,100	4.28
農林中央金庫	2,052	4.18
株式会社千葉興業銀行	1,625	3.31
みずほ信託銀行株式会社	1,400	2.85
クレディスイスルクセンブルグ エスエー カスタマー アセツ フアンズ ユーシツツ	1,398	2.85
丸山製作所取引先持株会	1,301	2.65
株式会社クボタ	954	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	907	1.85
丸山製作所従業員持株会	825	1.68
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	767	1.56

(注) 1. 持株比率は自己株式(1,203,184株)を控除して算出しております。  
 2. 当社は、平成23年8月9日開催の取締役会において、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議し、平成23年9月2日から平成23年9月7日にかけて資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式524,000株を取得しております。なお、平成28年3月31日現在において信託E口が所有する当社株式515,000株を自己株式数に含めております。

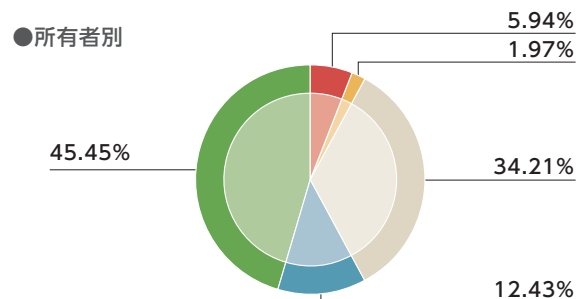
### ▶ 株価および株式売買高の推移



### ▶ 株式の分布状況



● 1千株未満	564名	82,851株
● 1千株以上10千株未満	4,555名	10,016,227株
● 10千株以上50千株未満	489名	8,155,366株
● 50千株以上100千株未満	38名	2,505,763株
● 100千株以上1,000千株未満	48名	19,654,901株
● 1,000千株以上	6名	9,878,220株



● 外国法人等	2,987千株
● 証券会社	990千株
● 金融機関	17,208千株
● その他国内法人	6,250千株
● 個人その他	22,858千株

## ● 会社情報

### ▶ 会社の概要 (2016年3月31日現在)

商号 株式会社丸山製作所  
 英文名 MARUYAMA MFG. CO., INC.  
 設立 1937年11月1日  
 資本金 46億5,106万円  
 本社 東京都千代田区内神田三丁目4番15号  
 主な事業内容 農林業用機械(噴霧機、刈払機ほか)、工業用機械(高圧ポンプほか)、消防機械(消火器ほか)、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売  
 不動産賃貸事業、売電事業

国内関係会社 日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社  
 海外関係会社 マルヤマU.S., INC.、マルヤマ(タイ) CO., LTD.、丸山(上海)貿易有限公司、山東秋田丸山機械股分有限公司、アジアンマルヤマ(タイ) CO., LTD.

従業員数 530名  
 グループ従業員数 933名  
 工場 千葉工場、東金第二工場  
 事業所 鏡野事業所、福島事業所  
 営業拠点 北海道、帯広、秋田、北東北、南東北、宮城、福島、新潟、甲信、山梨、茨城、北関東、千葉、南関東、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、岡山、四国、福岡、熊本、南九州、宮崎

### ▶ 役員の状況 (2016年3月31日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭正伸	
専務取締役	鎌倉利博	管理本部長
常務取締役	杉本淳一	生産本部長
常務取締役	遠藤茂巳	営業本部長
取締役	山田克彦	品質ものづくり統括部長
取締役	石村孝裕	営業推進統括部長
取締役	内小松剛治	経営企画室長
取締役	小砂山一	社外取締役
取締役	土岐晃一	社外取締役 常勤監査等委員
取締役	税所敦司	社外取締役 監査等委員
取締役		社外取締役 監査等委員

# ●株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先、郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告 (当社ホームページ <a href="http://www.maruyama.co.jp">http://www.maruyama.co.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。

## お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。  
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。  
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 単元未満(1株から999株)株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。  
詳細につきましては下記までお問い合わせください。

### ■お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式  
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式  
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

### ■買取制度の例 (1,600株ご所有の場合)



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。